



# 月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 千葉 (22) 7207 番

92.1.6 No. 3518

# 1.14 団結旗開きに集まる 「JR5万人体制」との妥協なき闘いの年

# 闘春盲疾るる!!

組合員のみなさん明けましておめでとございませう。

今年も日刊労働千葉は、組合員のみなさんの期待に応えるべく全勢力を挙げて、情報を正確に、タイムリーに、そして労働者としての立場に起って、編集委員一同発行していく所存です。

昨年一年は、湾岸戦争から始まりソ連の崩壊(独立国家共同体)で幕を閉じました。

まさに激動の時代を象徴する、「予測不可能」な時代へと突入したことを、歴史を築いてきた米・ソ超大国の動きの中にはつきりと見て取ることとなりました。

中国の天安門事件、ベルリンの壁崩壊といままでを越えた歴史のうねりの中で、日本経済はバブル崩壊、対日赤字を理由としたスーパー三〇一条等による圧力は、とりもなおさず世界経済のプロック化へと進むことは自明の理です。

そのためにも自衛隊の海外派兵による、経済と軍事両面からの侵攻は体制をかけたものとなっております。

であるがゆえに、「国際貢献」を理由としたPKO法案の強行採決を策しながら、二回の臨時国会

まで開催をしつつ、法案を成立できなかつた政府・自民党の基盤は大きく揺らいでいると言えます。

一方「JR体制」は、西日本・東海・九州と会社側から労務管理体制の変更という形で発露しています。

この流れの背景には、分割・民営化の理由としてきた長期債務問題の解決なき破綻状況があると言えます。

バブル崩壊に直撃され、土地も売れず、株の放出もできず、何ら解決の糸口を見いだせない。のみならず新幹線保有機構は解体され、JR各社への売却、整備新幹線・新線敷設はJR各社の経営にもろに影響を及ぼすものとなっております。

この解決をJRは、労務管理体制の変更と、鉄道事業そのものを

解体する大合理化によっての解決に見いだす、第二の分割・民営化攻撃にうって出てきたということ

です。

JR東日本鉄道部門5万人体制とは、こういうことです。そして、「二人に一人、三人に一人」という言葉の復活であり、「去るも地獄、残るも地獄」の地獄を要求するものです。

われわれ労働千葉は、昨年の一・二二―二六ストによって、この攻撃の本質を鋭く見抜き、JRで働く労働者に警鐘を乱打しました。

いよいよ決戦の時です。「九二・三ダイ改」阻止の闘いへ進撃しよう!

九二年団結旗開きの成功へ、組合員・家族は一月一四日労働者福祉センターへ集まろう!

## 九二年労働千葉団結旗開き!

と き 一月一四日一三時より  
と ころ 千葉県労働者福祉センター  
闘いの開始を告げる

真の旗開き!  
全組合員・家族は  
全力で集まろう!